

陸上で東日本大会・全国大会へ



活躍を誓う石澤さん(右)

8月5日に千代台公園陸上競技場(函館市)で開催された2018東日本都道府県小学生陸上競技交流大会および8月17日から19日にかけて日産スタジアム(横浜市)で開催された日清食品カップ第34回全国小学生陸上競技交流大会へ出場した石澤龍弥さん(いずみ小5年)が7月19日、市長を表敬訪問しました。

石澤さんは6月24日に行われた県予選大会の5年男子100mで優勝し、東日本大会・全国大会へ出場することができました。石澤さんは「東日本大会は全国大会へつながる大会なので1位を目指し、全国大会では良いタイムが出せるように頑張りたいです」と大会への意気込みを話しました。

第4回WBSC U-15 ワールドカップ2018出場



U-15日本代表としてワールドカップへ出場する藤森さん(右)

8月10日から19日にかけてパナマで開催された第4回WBSC U-15ワールドカップ2018に出場した藤森稔七丞(いきなすけ)さん(青森山田リトルシニア所属・青森山田中3年・南小学校出身)が7月25日、市長を表敬訪問しました。藤森さんは5月に行われた侍ジャパンU-15代表選考トライアウトに臨み、130人の中から20人の代表選手に選ばれました。

藤森さんは「外国選手との対戦で自分の持ち味のストレートで真っ向勝負し、理想はストレートで三振をとりたいです。自分の役割をしっかりと果たし、世界一を目指して頑張ります」と意気込みを話しました。

赤十字救援車「博愛号」が配置されました



配置式の様子

7月30日、赤十字救援車「博愛号」の配置式が市役所庁舎前で行われました。

式には、日本赤十字社青森県支部五所川原市地区長である佐々木市長、赤十字奉仕団員の方々が出席し、同社県支部の近藤宏事務局長よりレプリカキーが贈呈されました。

この救援車の配置事業は、救援車購入費用の一部を助成いただくものであり、前回配置されたのが平成6年で、今回の救援車は4台目の車両となります。

配置された博愛号は、主に災害時の救護資材、救援物資、避難民の運搬輸送等の救護や血液事業、赤十字奉仕団、青少年赤十字の活動などに使われます。

交通安全五所川原市民大会



交通安全宣言をする宮崎会長

7月21日から31日までの「夏の交通安全県民運動」の一環として、7月25日、オルテンシアで交通安全五所川原市民大会が開かれました。

五所川原市交通安全母の会連合会会長の宮崎妙子さんが「6月12日、市内における交通死亡事故皆無日数が300日を超えました。しかし、これに気を緩めることなく、交通事故の犠牲者を増やしてはならないと改めて強く決意し、交通事故防止に邁進することを誓います」と交通安全宣言を行ったほか、五所川原警察署の樋口敬志交通課長が交通安全指導で交通事故防止を呼びかけました。日頃から、市民の皆さん一人一人が交通事故防止を意識しましょう。

◎ 広報有料広告



～職場の『安全』『健康』を祈願いたします～

参加料 1,000円/1名 ☆参加記念品 御神酒 付☆

お申込みはこちら(一社)西北労働基準協会 ☎0173-35-6336(※切9月5日)

特別講演 笑いあり・歌あり♪
『麻生しおり & 上明戸華恵』トークと歌をお届けします

〈開催日程〉9月14日(金)14時から プラザマリユウ五所川原 西北五産業安全衛生大会

五所川原市を応援します!!